

衛生管理者試験解答解説(平成 27 年 4 月公表)

問 1 (2)

(1)誤り 常時使用労働者数が 501 人以上 1000 人以下の場合は 3 人以上の衛生管理者を選任しなければならない。

(2)正しい

(3)誤り 衛生管理者を 2 名以上選任した中に労働衛生コンサルタントがいる場合、労働衛生コンサルタントの内 1 名だけは専属でなくても良い。

(4)誤り 常時使用労働者が 500 名を超える事業所で一定の「有害業務」に常時 30 人以上の労働者を従事させるときは衛生管理者の内、1 名は「衛生工学衛生管理者免許」を有する者から選任しなければならない。

(5)誤り 常時使用労働者が 500 名を超える事業所で「有害業務」に常時 30 人以上の労働者を従事させるときは衛生管理者の内、少なくとも 1 名は「専任」にしなくてはならない。

平成 26 年 10 月公表問題 問 1 の変形

問 2 (3)

(1)該当する

(2)該当する

(3)「特定化学物質」を取り扱う業務は「特別教育」は不要だが「特殊健康診断」の対象となる。

(4)該当する

(5)該当する

平成 25 年 10 月公表 問 2 の変形

問 3 (5)

(1)不要 「木材加工用丸のこ盤」の作業場所は該当しない。

(2)不要 「全体」換気装置は該当しない。

(3)不要 「エタノール」の作業場所は該当しない。

(4)不要 「アンモニア」の作業場所は該当しない。

(5)必要である。

平成 26 年 4 月公表 問 3 の変形

問 4 (2)

(2)の「ベンジジン及びその塩」は「製造等禁止物質」として製造、輸入、譲渡、提供、使用が禁止されている。
ただし、試験研究のためであるときはこの限りではない。

ちなみに「ジクロロベンジジン及びその塩」は、許可を受ければ製造することができる「製造許可物質」である。

平成 25 年 4 月公表 問 5 と同じ問題

問 5 (5)

A・・・「排液処理」

B・・・「酸化・還元」

難易度高い問題

問 6 (1)

(1)制御風速が 0.4m/s以上なのは「囲い式フード」の局所装置である。

(2)正しい

(3)正しい

(4)正しい

(5)正しい

平成 26 年 4 月公表 問 6 の変形

問 7 (5)

(1)正しい

(2)正しい

(3)正しい

(4)正しい

(5)粉じん作業を行う作業場所は特定などにこだわらず「毎日 1 回以上」清掃を行わなければならない。

平成 25 年 4 月公表 問 7 の変形

問 8 (1)

(1)が第二種酸素欠乏危険作業に該当

第一種酸素欠乏危険作業・・・酸素欠乏症となるおそれはあるが硫化水素中毒となるおそれはない場所での作業

第二種酸素欠乏危険作業・・・酸素欠乏症かつ硫化水素中毒となるおそれのある場所での作業

平成 25 年 10 月公表 問 7 の変形

問 9 (2)

- (1)正しい
- (2)著しい騒音を発する作業場における「等価騒音レベル」の測定は「6 ヶ月」ごとに 1 回行う
- (3)正しい
- (4)正しい
- (5)正しい

問 10 (2)

- (1)誤り
- (2)正しい 労働基準法 64 条の 2 一般女性の就業制限に「重量物取扱業務の就業制限」に規程
- (3)誤り
- (4)誤り
- (5)誤り

問 11 (1)

- (1)の記載は「作業環境管理」についての記載である。
「作業環境管理」とは作業環境中の有害要因の排除など先取りの管理のことをいい
「作業管理」とは作業自体の管理により、人と作業を安全衛生面から調和させることをいう。
- (2)正しい
 - (3)正しい
 - (4)正しい
 - (5)正しい

平成 26 年 10 月公表 問 11 と同じ問題

問 12 (3)

- (1)常温、常圧では「気体」
- (2)常温、常圧では「固体」
- (3)正しい
- (4)常温、常圧では「気体」
- (5)常温、常圧では「気体」

平成 25 年 10 月公表 問 12 の変形

問 13 (2)

(1)正しい

(2)誤り メタノールは「視覚障害」を引き起こすことで知られている。

(3)正しい

(4)正しい

(5)正しい

平成 25 年 10 月公表 問 13 の変形

問 14 (5)

(1)正しい

(2)正しい

(3)正しい

(4)正しい

(5)等価交換レベルは「音圧レベル」の平均値ではなく「騒音レベル」の平均値である。

平成 26 年 10 月公表問題 問 14 の変形

問 15 (3)

(1)正しい

(2)正しい

(3)けい肺は「金属粉じん」ではなく「遊離けい酸」を吸入することによって起こる。

(4)正しい

(5)正しい

平成 26 年 4 月公表問題 問 15 の変形

問 16 (1)

(1)正しい

(2)虚脱熱は熱失神とも言われ、脳の血流量が不足した時に起こり、脈拍は早くなるが体温の上昇はみられない。

(3)金属熱は金属ヒュームを吸入することにより発熱する疾病である。

(4)凍瘡は、日常生活内での軽度の寒冷により発生するもので、凍結壊死は伴わない。

(5)減圧症は酸素だけではなく窒素が気泡化することによって起こる。

平成 26 年 4 月公表問題 問 16 の変形

問 17 (2)

(1)塩素による中毒では、粘膜、呼吸器が刺激され、咽頭痛、咳、胸苦しさを訴え、肺水腫に至ることもある。

(2)正しい

(3)弗化水素による中毒では鼻、のど、気管支などの粘膜が刺激され、侵され、肺水腫を起こし、呼吸困難、呼吸停止を起こす。

(4)一酸化炭素中毒では、息切れ、頭痛から始まり、虚脱や意識混濁が見られる。

(5)二酸化窒素による慢性中毒では、慢性気管支炎、肺気腫、胃腸障害、歯牙齲しよく症などの症状が見られる。

平成 26 年 4 月公表問題 問 17 とほぼ同じ(順番の入れ替え)

問 18 (3)

(1)正しい

(2)正しい

(3)記述内容は「B」測定が必要である。

(4)正しい

(5)正しい

平成 25 年 10 月公表問題 問 17 の変形

問 19 (2)

(1)正しい

(2)防じんマスクの手入れは圧縮空気の吹き飛ばしや、ろ過材を強くたたいて払い落としてはいけない。

(3)正しい

(4)正しい

(5)正しい

平成 26 年 4 月公表問題 問 19 の変形

問 20 (2)

(1)正しい

(2)有害物質による健康障害の大部分は、急性発症を除き、初期又は軽度の場合はほとんど無自覚で初検査の結果により発見されることが多い。

(3)正しい

(4)正しい

(5)正しい

平成 26 年 4 月公表問題 問 20 の変形

問 21 (3)

(1)正しい

(2)正しい

(3)本枝の内容は「産業医」に関する記載である。

衛生管理者の役割は次号場を毎週 1 回巡視し、労働者の危険又は健康障害の防止措置等の技術的事項を担うことである。

(4)正しい

(5)正しい

問 22 (4)

(1)衛生委員会は業種に限らず常時 50 人以上の労働者を使用する事業場において設置しなければならない。

(2)安全委員会の設置を必要とする事業場では、衛生委員会と安全委員会に代えて衛生委員会を設置しなければならない。

(3)事業場で選任している衛生管理者は、すべてではなく、少なくとも 1 人を衛生委員会の委員としなければならない。

(4)正しい

(5)衛生委員会はこの委員として指名する産業医は、専属に限定する定めはない。

平成 25 年 4 月公表問題 問 22 と同じ

問 23 (2)

- (1)該当する
- (2)血圧の測定は、原則として省略できない。
- (3)該当する
- (4)該当する
- (5)該当する

平成 26 年 4 月公表問題 問 23 の変形

問 24 (5)

- (1)違反していない
- (2)違反していない
- (3)違反していない
- (4)違反していない
- (5)休憩室は炊事従業員「専用」を設ける必要がある。

平成 26 年 10 月公表問題 問 25 の変形

問 25 (4)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)事業者は、面接指導の結果に基づく医師の意見聴取を「遅滞なく」行わなければならない。
- (5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 24 の変形

問 26 (2)

- (1)誤り
- (2)正しい
- (3)誤り
- (4)誤り
- (5)誤り

平成 25 年 10 月公表問題 問 27 の変形

問 27 (4)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい

(4)労使協定による時間外・休日労働(36 協定)は、原則として年少者(満 18 歳未満者)は適用されない。

- (5)正しい

問 28 (3)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)300 ルクス「以上」が適切である。
- (4)正しい
- (5)正しい

平成 25 年 10 月公表問題 問 28 の変形

問 29 (4)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)「喫煙」→「非喫煙」ではなく「非喫煙」→「喫煙」へ向かう気流の風速を 0.2m/s「以上」とする措置が必要である。
- (5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 29 の変形

問 30 (1)

- (1)正しい 出題内容を「負傷休業日数率」「病休度数率」等と混同しないこと
- (2)誤り
- (3)誤り
- (4)誤り
- (5)誤り

平成 23 年 10 月公表問題 問 31 と同じ問題

問 31 (4)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい

(4)止血帯には細いゴム紐ではなく「三角巾」「手ぬぐい」「ネクタイ」等を用い 5 cm幅で二重に回し半結びにして止血する。

- (5)正しい

平成 25 年 10 月公表問題 問 34 の変形

問 32 (2)

- (1)水泡ができるのはⅡ度である。
- (2)正しい
- (3)水泡は破いてはいけない。
- (4)中和剤は用いずに、直に水で洗浄する。
- (5)皮膚がはがれてしまうおそれがあるので、そのまま冷やす。

平成 26 年 10 月公表問題 問 32 の変形

問 33 (4)

- (1)ノロウイルスは「食品中」ではなく「十二指腸から小腸上部」で増殖する。
- (2)ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅する。
- (3)摂取後、1～2 日後に発症する。
- (4)正しい
- (5)症状は「嘔吐」や「下痢」が特徴である。

平成 25 年 10 月公表問題 問 32 の変形

問 34 (3)

- (1)気道を確保するには傷病者の額をおさえながら、指先を傷病者の顎の先端に当てて持ち上げる。
- (2)呼吸の有無の確認は「10 秒以内」に行う。
- (3)正しい
- (4)1 分間に少なくとも 100 回のテンポで行う。
- (5)電気ショックを行った後や不要と判断された時には、音声メッセージに従い、胸骨圧迫を開始し心肺蘇生を続ける

平成 26 年 4 月公表問題 問 34 の変形

問 35 (4)

(1)呼吸運動は主として「呼吸筋(肋間筋)」と「横隔膜」の協調運動によって胸郭内容積を周期的に増減させて行われる。

(2)記述内容は「外呼吸」である。

(3)成人の呼吸数は食事、入浴や発熱によって「増加」する。

(4)正しい

(5)血液中に二酸化炭素が増加してくると、呼吸中枢が刺激されて呼吸数は「増加」する。

平成 26 年 10 月公表問題 問 35 の変形

問 36 (3)

(1)誤り

(2)誤り

(3)正しい

(4)誤り

(5)誤り

平成 24 年 10 月公表問題 問 37 の変形

問 37 (4)

(1)正しい

(2)正しい

(3)正しい

(4)カ)の腎静脈は、腎臓で尿素窒素等をろ過した血液が流れており、エ)の肝静脈はろ過されていない尿窒素等老廃物が含まれる静脈血である。

(5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 36 の変形

問 38 (1)

(1)正しい

(2)誤り

(3)誤り

(4)誤り

(5)誤り

問 39 (3)

- (1)血中の老廃物は「糸球体」からボウマン嚢に濾し出される。
- (2)血中の蛋白質は分子構造が大きいため、ボウマン嚢には濾し出されない。
- (3)正しい
- (4)原尿中に濾し出された電解質の多くは、「尿細管」から血液中に再吸収される。
- (5)原尿中に濾し出された水分の大部分は、尿細管から血液中に再吸収される。

平成 23 年 10 月公表問題 問 39 の変形

問 40 (4)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)血液の容積に対する「赤血球」の相対的容積をヘマトクリットという。
- (5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 40 の変形

問 41 (2)

- (1)正しい
- (2)眼は「水晶体」の厚さを変えることにより焦点距離を調整する。
- (3)正しい
- (4)正しい
- (5)正しい

平成 24 年 10 月公表問題 問 41 の変形

問 42 (1)

- (1)コルチゾールの内分泌器官は「副腎皮質」で、血糖量を「増加」させる。
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)正しい
- (5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 42 と同じ問題

問 43 (5)

- (1)筋肉中のグリコーゲンが酸素が十分に供給されると「水」と「二酸化炭素」になる。
- (2)筋肉の縮む速さが「適当なとき」に仕事の効率は大きい。
- (3)筋線維が太くなることにより筋力が増強する。
- (4)人が直立している時は「等尺性」収縮が生じている。
- (5)正しい

問 44 (2)

- (1)正しい
- (2)基礎代謝量は「生命の維持に最小限必要」なエネルギー消費量をいう。
- (3)正しい
- (4)正しい
- (5)正しい